

かいのき児童クラブ便り

子どもたちのはじける笑顔のために

H23. 8. 30



夏号 NO. 5

野外活動&宿泊保育

たくさんのお手伝いありがとうございました。大雨が降って、あいにく飯ごうでご飯を炊くことはできませんでしたが、みんなで輪になって食べたカレーはいつものカレーとまたちがったのかな？と思いました。

「みんなで食べたカレーがおいしかった！」とか「野外炊事はできませんでしたが、中で食べたカレーもおいしかったです。」と何人もの子が作文に書いていました。「みんなで寝れてたのしかったです。」とか「みんなで食べたお弁当はおいしかったです。」「友だちと寝られてうれしかったです。」と友だちと一緒に出来たことのうれしさや楽しさをたくさんの子が書いていました。

やっぱり楽しいことをみんなや友だちとするから意味があるのですよね。共感してこそ経験になるのですね。保育をしながらの準備はたいへんで保護者の皆さんにもご迷惑をお掛けしましたが、やってよかったあ〜と今心からそう思っています。今後冬・春休みにも子ども達がみんなできて、楽しいことを考えていきます。その時はご協力お願いいたします。

保育報告会&親睦会

たくさんのご参加ありがとうございました。アンケートでお尋ねのあった事への返答をさせていただきます。

Q: 指導員の数が足りてないせいか、頂いたプールも出して遊んでやる大人がいないので活躍していないのでは？

A: 今ふくらませているものも、子どもたちが一緒に準備をしてふくらませましたが、小学生にとってビニールプールに入るより、ホースで水を掛け合っただ方が楽しかったようです。女子も水着になるのが恥ずかしいのかあまり水遊びはしませんでした。かいのきでは指導員が準備をして、遊ばせるのではなく、子どもたちが自ら考えて遊びを作っていたらと思っています。

Q: 指導員を子どもたちがニックネームで呼んでいるのが・・・

A: 指導員も子どもたちもはじめに呼んで欲しい呼び方を聞きました。そこで「何でもいいよ。」の人は、みんなが自然に呼び始めたニックネームになっています。指導員は先生でも大人でもありません。子どもたちにとって、保護者の方も子どもの頃大人に内緒でちょっといたずらをしたことはありませんか？子どもの世界に本当は大人はいないはずなのです。大人の目で見ると『管理の目』になってしまいがちです（アレダメ。これだめ）そのことを意識するためにも先生ではなく、子どもと寄り添う身体は大人。心は子どもの指導員でなければと思っています。だから失礼では無いのです。それに仲間に成れないと呼び捨てやニックネームも子どもは呼んでくれないし、呼ばせてもらえません。もしご自分の子どもさんを指導員が呼び捨てで呼んでいるのが、気になられる方は、一言かけて下さい。